

デジタル時代のラジオ放送に関する検討課題例（案）

- 1 ラジオ放送を巡る急速な環境変化(他メディアとの競合・連携)をどう捉えるか。
- 2 競合するメディアとの関係でデジタルラジオの位置づけ・優位性をどう考えるか。
また、海外の技術基準と比較して、我が国のデジタルラジオはどのような特性・優位性を有しているのか。
- 3 デジタルラジオのビジネスモデルや役割をどう考えるか。
デジタルラジオのサービス(コンテンツ)イメージとはどのようなものか。それは、どのような端末・プラットフォームの元に成立するのか。
デジタルラジオ放送のビジネス構造はどうか(広告放送としてのあり方 等)
ユビキタス社会のなかでのデジタルラジオの役割をどう考えるか。
等
- 4 デジタルラジオのビジネスモデルの展開を促すために、どのような取組が必要か。
現在DRPが行っている実用化試験放送の今後のあり方をどう考えるか。
デジタルラジオのビジネスモデルの早期確立のため、国はどのような役割を果たすべきか
(「ロードマップ」の作成 等)。
等
- 5 デジタルラジオと並存するアナログラジオのサービス内容・ビジネスモデルはどうか。また、アナログラジオ・デジタルラジオのそれぞれの社会的役割をどう考えるか。
- 6 同じ移動体向けサービスである携帯電話については、地下街等における不感対策が進展しているが、ラジオの通信との連携等ビジネスモデルの展開を踏まえ、ラジオの不感対策の必要性をどう考えるか。

(以上)